



ホームページに収録された統計情報利用法

1. はじめに

ここでは、インターネット上のホームページ(HP)に収録されている統計関連情報の利用法を初心者向けに解説する。

インターネットを利用した統計関連情報の収集には、入手の即時性のほかに次のような利点がある。

- 1) 欲しい情報が収録されているHPの所在が不明の場合でも検索が簡単にできる。
- 2) 電子メール(eメール)を利用すれば、HPの開設者への問い合わせが簡単にできる。
- 3) HPに収録されている情報の保存・グラフ化などの2次利用が簡単にできる。

なお、HPはインターネットサイト、ウェブページ、ウェブページともよばれている。

2. 一般的利用法

次に利用法の要点を紹介する。細部はHP閲覧用ソフト(ブラウザとよばれる)の解説書を参照されたい。

まずHP閲覧用ソフトを立ち上げ、次の方法のいずれかにより目的のHPに接続する。

なお、マウスのクリックは、ほとんどの場合左ボタンを1回または2回押せばよい。

1) アドレスの入力

閲覧用ソフトの画面上部の欄にアドレスを入力し、「Enter」キーを押す。アドレス(例 総務省統計局の年少者用ページ「なるほどデータforきっず」<http://www.stat.go.jp/kids/>)は、通常「http://」で始まる。アドレスは、HPの「住所」に相当し、正式にはURLという。最近のソフトでは「http://」を省略できるものがある。

アドレスの入力が1字でも間違っていると、接続されない。したがって、表示したい

HPのアドレスが変更されていると、接続できない。ただし、アドレスの後半の部分だけに変更されている場合には、「/」で区切られた部分を末尾から順に削除して「Enter」を再度押してみると、接続できることがある。

2) リンク集の利用

HPの中の下線が施してある部分(例 [総務省統計局 国勢調査](#))をクリックすると、目的のHPが表示される。このようにHPのある部分をクリックして別のHPへ移れることを「リンクが張ってある」という。

上記のような他のHP内に表示されているリンクが張られた開設主体名や統計調査名をクリックすると、そのHPが表示される。関連するHPへのリンクを多数設けたページをリンク集という。

3) ポータルサイトのリンク集の利用

これは、職業別電話帳による電話番号の検索を思い浮かべれば良い。ポータルサイト(例 ヤフー <http://www.yahoo.co.jp/>など)のHPに接続し、表示された分野別のリスト(例「教育」「各種資料と情報源」「地域情報」など)から探している情報に関連が強そうな分野をクリックして選び、表示された下位分野からまた1つを選んで順次分野を狭め、最後に個別のHP名(と収録内容の要約)のリストが表示されたら、その中の1つをクリックすると、そのページが表示される。

4) キーワード検索

ポータルサイトのHPに接続し、画面に設けられたキーワード用の欄に機関名・統計名など(例「文部科学省」「物価指数」など)を入力し、「検索」ボタンをクリックする。そのキーワードに関連するHPのリストが画面に表示される(このような機能を検索エンジン

という)。このリストの中の開設機関名などをクリックすると、そのHPが表示される。リストに表示されたHPが多すぎる場合は、別のキーワードを既に入力したキーワードの後に1字分以上空白を置いて入力して絞り込む。このような検索を行っても、適切なHPが見つからないときは、キーワードを類語(例「統計」の代わりに「調査」「データ」など)に変えてみると良い。検索エンジンは、サーチエンジンともよばれる。

さらに、最近の閲覧ソフトでは、アドレス欄にHPの開設主体の日本語名(例 総務省統計局)を入力すると、そのHPへのリンクを張った検索エンジンのHPが画面に表れる。また、アドレスの「www.」の直後の部分だけをアドレス欄に入力すればよい場合(例 総務省統計局の「http://www.stat.go.jp/」の「stat」だけを入力すると、統計局HPへのリンクを表示した検索エンジンのHPが表示される)がある。

5) 一度閲覧したHPの再閲覧

後で再度閲覧したい場合は、画面上部の「お気に入り」または「ブックマーク」をクリックすると、そのHPのアドレスが保存される。次回はこれらのアイコンをクリックすると、保存されているアドレスのリストが表示されるので、閲覧したいHP名をクリックする。この方法で、検索エンジンや頻りに利用するリンク集のアドレスを保存しておくとも良い。

6) サイト内での情報の検索

同一の開設主体が設けたHPのまとまりをサイトとよぶ。サイト内の表紙に当たるページをトップページとよび、図書や雑誌の目次などに相当する内容が収録されている。そのHP内の他のページへの移動はこのページに設けられたリンクを利用する。トップページにはサイト内の収録内容をキーワードで検索できる機能を備えているものもある。また、「サイト・マップ」とよばれる細目次に相当す

るページを別に設けているサイトもある。

なお、探している情報が表示されているHPのどこに掲載されているかわからないときは、画面上部の「編集」をクリックし、その情報に関連するキーワードを入力すると、その掲載箇所が強調表示される。

7) HPの収録情報の2次利用

HPの画面は印刷したり、CD-RW・フロッピー・ハードディスクなどに保存することもできる。HP内に印刷物(例 総務省統計局のHP内の『日本統計年鑑』など)の内容がそのまま収録されている場合がある。そのほか次のような利用法もある。

印刷物をそのまま収録したファイル(アドビ社のPDF)や特定の表計算ソフトの形式で作成されたファイル(例 マイクロソフト社のEXCEL)をダウンロードして現在使っているコンピュータに保存できる。ただし、そのファイルの形式に適合する閲覧用ソフトをインストールしておく必要がある。

3. 注意点

電子メールを受信したり、HPを閲覧しただけで感染するコンピュータウイルスがある。対策として「ウイルス対策ソフト」を常に最新のものに更新すること、発信者に心当たりがない電子メールは不用意に開けないこと、添付ファイルを開ける場合には特に注意する必要がある。

●HP開設機関の都合でHPへの接続が一時的に不可能になったり、内容の更新がテレビ・新聞などでの発表より遅れることもある。

●各HPの収録情報は、各開設機関の立場からの見解・主張・宣伝などを含む場合がある。特に企業や業界団体のHPの場合は、この点に留意する必要がある。

●電子メール送信の際には住所・電話番号などの個人情報の保護に留意する必要がある。

●写真・動画などを収録したページは、文字だけのページよりも表示に時間がかかる。

- 画面を長時間注視することは避ける。
- HPの閲覧自体は大部分無料であるが、民間企業が設けたHPには料金や個人情報の提供などが必要な場合がある。

4. 個別HPの紹介

【統計作成機関へのリンク集】

- 総務省統計局トップページ「リンク集」：中央省庁・地方自治体・海外の統計機関などの統計関連HPへ接続できる。

<http://www.stat.go.jp/>

同局HP内の年少者用ページ「なるほどデータforきっず」内の「リンク集」：政府機関の年少者用ページへのリンク集

<http://www.stat.go.jp/kids/datastore/link.htm>

なお、アドレスの「go」はHPの開設機関が政府機関であることを、「jp」は日本を示す。

- 首相官邸の「キッズルーム」（トップページからリンク）に「各府省のキッズルーム」へのリンクが設けられている。また、「たいせつな話」のページの1998年分に「統計の日」が、2000年分に「国勢調査」が取り上げられている。

<http://www.kantei.go.jp/jp/kids/>

- 地方自治情報センター「全国自治体マップ検索」：このHP内の地図の該当部分をクリックすると、都道府県・市区町村のHPへ接続される。キーワードを入力して、関連するHPを検索する機能もある。

<http://www.nippon-net.ne.jp/>

【教材用HP・個別校HPへのリンク集・検索エンジン】

- 教育情報ナショナルセンター（学年・教科別のリンク集）

<http://www.nicer.go.jp/kids/>

- 大阪教育大学「インターネットと教育」：教材・実践記録などの検索エンジン

<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/educ/>

上記のほか多数の小学校用教科書の出版社が自社HPに教材用リンク集を用意している。

【年少者用リンク集・検索エンジン】（小学生の利用を前提としている）

- わぁーい（「勉強をもっと知りたい」の「社会をあそぼう」リンク）集

<http://www2.tokai.or.jp/waai/>

- YAHOO!キッズ（年少者用検索エンジン・「世界と社会」リンク集）

<http://kids.yahoo.co.jp/>

- キッズgoo（年少者用検索エンジン・「学校生活と教科」「世界と日本の社会」リンク集）

<http://kids.goo.ne.jp/>

【一般向けポータルサイト内の検索エンジン】

- グーグル

<http://www.google.com/>

- インフォシーク

<http://www.infoseek.co.jp/>

- フレッシュアイ

<http://www.fresheye.com/>

- goo

<http://www.goo.ne.jp/>

- MSN

<http://www.msn.co.jp/>

- excite

<http://www.excite.co.jp/>

【個別HP】

- 総務省統計局（アドレスは前掲）：「家計調査」「国勢調査」などの結果、月次統計の最近の動きを収録した『ポケット統計情報』・『日本統計月報』、各省庁で作成している統計を網羅した『日本統計年鑑』など。このサイトのトップページ内に「なるほどデータforきっず」へのリンクも設けられている。

- 内閣府総合企画調整担当：「児童・生徒の高齢化問題に関する意識調査結果」

http://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h10_kiso/jidou.htm

- 総務省「情報通信白書 for kids」：インターネット自体に関する年少者向け解説
<http://www.kids.soumu.go.jp>
総務省HPの一般向けの部分にはインターネットの普及率に関する調査結果（「通信利用動向調査」）なども収録
http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/joho_tsusin.html
- 農林水産省：「こどものための農業教室」・『ジュニア農業水産白書』・食料自給率
<http://www.maff.go.jp/>
- 経済産業省：「キッズページ」の「温暖化対策」「経済」「情報化」「環境・エネルギー」などのトピックの解説
<http://www.meti.go.jp/intro/kids/it/>
- 気象庁「気象データ」
<http://www.jma.go.jp/>
- 国立社会保障・人口問題研究所：1930年から2050年までの姿を変える「人口ピラミッド」（5年毎の年齢別人口をアニメ化したもの）
<http://www.ipss.go.jp/>
- 地方自治体の統計主管課（総務省統計局、地方自治情報センターHPからリンク）
統計関連のクイズ・ゲーム・トピックス・基礎知識などを収録：岡山県・兵庫県・佐賀県・鳥取県・岡山市・秋田市など。「統計グラフコンクール」の入賞作品・応募要領なども収録されている。一部の市区のHPには、その地域の総人口の推移などの基本的な統計のほか、校区別の年齢別人口数などを収録したものが増えている。
- 文部科学省「こどもページ」の「文部科学省のいろいろなデータ」に学校関係の統計。「各種統計情報」に「学校における情報教育の実態等に関する調査」（インターネット設備の普及率・教員の状況など）の結果を収録。
<http://www.mext.go.jp/kodomo/>
- 環境省「こどものページ」の「身近な生きもの調査」「水生生物調査」
<http://www.env.go.jp/kids/>
- 外務省「キッズ外務省」の「世界の学校を見よう」「姉妹都市」「世界雑学ランキング」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/>
- 農林水産省の統計情報事務所・財務省の税関：所管地域の地場産業の統計を収録（それぞれ本省のHP内にリンクが用意されている）。
- 警察庁「交通事故統計」
<http://www.npa.go.jp/toukei/>
- 日本銀行「にちぎん☆キッズ」の「おかねのしくみ」「おかねのひみつ」
<http://www2.boj.or.jp/kids/>
- 金融広報中央委員会（日本銀行の外郭団体）「こどもとお金」の「学校における金銭教育の進め方」
http://www.shiruporuto.jp/child/child_f.html
- インターネット協会「インターネットと子どもに関するページ」「インターネットを利用するためのルールとマナー集」（こどもばん改訂版）
<http://www.iajapan.org/child/>
- 情報処理推進機構：「新種ウイルス情報」
<http://www.ipa.go.jp/>
- 全国統計協会連合会：「統計グラフコンクール」
<http://www.nafsa.or.jp/>
- 海外子女教育財団：「在外教育施設一覧表」に日本人学校リンク集。
<http://www.joes.or.jp/>
- Kids Web Japan（10歳から14歳の子ども向けに日本を紹介するウェブサイト、外務省委託）日本語版と英語版がある。
<http://web-japan.org/kidsweb/index-j.html>
- 千葉県廃棄物情報技術センター「ゴミ教室」
<http://www.wit.pref.chiba.jp/>
- 日本水道協会「水道資料室」・各地域の水道事業へのリンク集
<http://www.jwwa.or.jp/linkindex.html>
- ビデオリサーチ「視聴率調査について」
<http://www.videor.co.jp/>

●小地域の地図の無料提供サイト

・マピオン

<http://www.mapion.co.jp/>

・マップファン

<http://www.mapfan.com/>

●公立図書館（蔵書検索ページ）へのリンク集

<http://www.jla.or.jp/link/public.html>

●日本書籍協会：現在市販されている書籍の検索

<http://www.books.or.jp/>

●筆者（山田 茂）のページ：上記の統計関係のサイトへのリンク集

<http://homepage.kokushikan.ac.jp/ecyamada/user/>

【参考文献】

宮内 泰介『自分で調べる技術』

岩波書店 2004年

山田 茂『統計資料集 2005』

産業統計研究社 2005年